

・(15)ノートルダム清心女子大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	1期	2026年4月9日	～	2026年8月7日
	2期	2026年9月18日	～	2027年1月30日
試験期間	1期	2026年7月24日	～	2026年8月7日
	2期	2027年1月18日	～	2027年1月30日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:45	～	12:15
	3限	13:00	～	14:30
	4限	14:45	～	16:15
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)

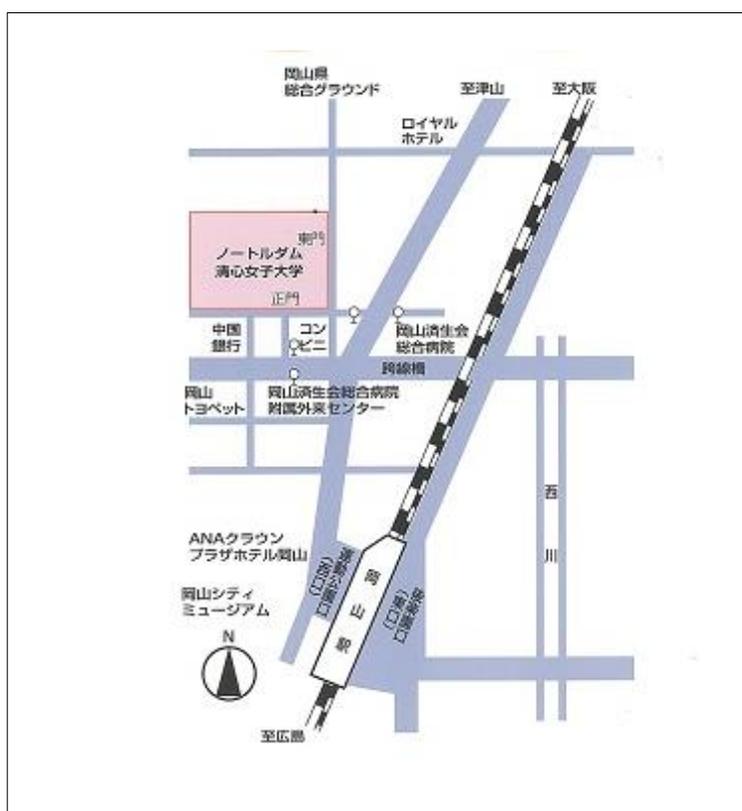
【交通アクセス】

○ JR岡山駅(西口)から北へ徒歩約10分

○ 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで

「済生会病院前」下車

○ 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9



③ 担当窓口

学務部	
所在地:	〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9
電話:	086-255-5583

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込期限は、前期:3月31日(火)まで 後期:9月9日(水)までです。なお、お申込みについては、必ず所属大学等のご担当者を通してください。

・ 履修手続

履修者の皆さんへ

1 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、初回授業時に必ず受け取りに来てください。

また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ① 学生便覧
- ② 学内案内図
- ③ 図書館の利用について
- ④ その他 講義関係書類

図書館を利用するためにはライブラリーカードが必要ですので、附属図書館で申請してください。手続きの際は、学務部よりご案内いたします。

2 自転車通学を希望する場合は、手続きが必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

・ 施設利用

ノートルダム清心女子大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

履修条件等の制限がある科目は、備考欄に記載あり。記載のない科目については、履修条件等の制限はありません。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.ndsu.ac.jp/department/syllabus.html>

・対面授業科目

対面授業			15001	
授業科目名:キリスト教学Ⅱ			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。しかし本科目のねらいは、イエスがなぜキリストなのかというよりも、歴史上に実在したイエスという人物について、「史的イエス(ナザレのイエス)」研究を手がかりとして探究することにある。</p> <p>具体的には、イエスが生きた当時の社会、文化、政治的背景を踏まえつつ、「罪人」とかカテゴリーライズされた人々とともに生き、皮肉やユーモアを交えた言葉と具体的な行動によって権力と抑圧に抗った、喜怒哀楽の感情を持つイエスの人間像に迫り、キリスト教の本質を問うていく。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 聖書とは 3. 古代ユダヤ世界 4. イエスが生きた時代 5. 洗礼者ヨハネとの出会い 6. イエスの自立 7. イエスと「罪人」たち 8. イエスが起こした奇跡 9. イエスが説いた神 10. 律法学者たちとイエス 11. イエスが説いた愛と交わり 12. イエスの危機 13. イエスの受難と死、復活 14. ナザレのイエスと信仰のキリスト(ディスカッション) 15. 聖書、イエスの再発見(ディスカッション) 				
<p>【テキスト】</p> <p>『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p>【参考図書】</p> <p><課題図書></p> <ol style="list-style-type: none"> ① ジョン・ディア『山上の説教を生きる:八福の教えと平和創造』志村真(訳)、新教出版社、2021年 ISBN 978-4400407546 ② 本田哲郎『釜ヶ崎と福音:神は貧しく小さくされた者と共に』岩波書店、2015年 ISBN 978-4006032821 <p><参考書></p> <p>・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門(第3版)』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4</p> <p>*その他は授業時またレジュメにおいて示す。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み態度 20% ・リアクションペーパー 30% ・レポート 50% 				
<p>【備考欄】</p> <p>本科目は2期開講の「キリスト教学Ⅷ」と内容が重なる。そのため、同科目を履修済みあるいは履修予定の人は、本科目の履修を避けること。</p>				

対面授業			15002	
授業科目名: キリスト教学 VIII			担当教員氏名: 岡田 紅理子	
Christian Studies VIII				
履修年次 1~4	2 単位	2 期	1 コマ	
<p>【授業の目的】 キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。その結果、イエスの死後成立したキリスト教会の内外では、イエスのみならず教会内部での実践を過度に神聖視し、イエスとその教えが果てしなく遠く、一切の疑念を持つてはいけないかのような認識に陥る傾向がある。</p> <p>本科目では、イエスという人物を「ナザレに生きた一人の男」として位置づけなおす一方で、その稀有な生き方と使命感に着目する。そして、現代の文脈にあわせて聖書を読み直し、イエスの言動を通じて、(キリスト者であるか否かに関わらず)人間とはどのような存在なのか、また人間は何を問われているのかについて考察していく。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 聖書という書物 3. 古代ユダヤ世界 4. キリスト待望論とイエスの誕生 5. イエスの召命 6. 公生活の開始 7. 「罪人」との出会いと連帯 8. 奇跡といやし 9. 神と人間 10. 律法学者たちへの挑戦 11. 隣人愛とは:愛、ゆるし、交わり 12. イエスに訪れた危機 13. 受難と死 14. それぞれのイエス理解(ディスカッション) 15. 聖書を読み直し、イエスを再発見する(ディスカッション) 				
<p>【テキスト】 『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p>【参考図書】 <課題図書></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 田川建三『イエスという男 第二版(増補改訂版)』作品社、2021 ISBN 978-4-87893-681-4 ② 本田哲郎『聖書を発見する』岩波書店、2010(2016) ISBN 978-4-00-730440-8 <p><参考書> ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門(第3版)』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4 *その他は授業時またレジュメにおいて示す。</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み態度(ディスカッション含む) 20% リアクションペーパー 30% レポート 50%</p>				
<p>【備考欄】 本科目は1期開講の「キリスト教学 II」と内容が重なる。そのため、同科目を履修済みあるいは履修予定の人は、本科目の履修を避けること。</p>				

対面授業				15003
授業科目名:キリスト教学Ⅹ			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies X				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 キリスト教は社会のなかから生まれ、社会のなかで生きてきた。国家権力と緊密な関係を保っていた時代から、植民地・帝国主義時代や世界大戦をへた変革の時代のなかで、キリスト教が省察してきた人類社会に対する自らの態度、使命はいかなるもので、キリスト教は人類社会になにを訴えてきたのだろうか。 本科目では、教皇の公文書である回勅、書簡、勧告のほか、公会議の憲章をはじめとするカトリック教会の諸文書を通じてキリスト教の価値観を学びながら、現代の社会、環境、生命をめぐる倫理的諸問題について学び、考えていく。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. キリスト教が示す倫理 3. 社会①教育と労働 4. 社会②開発と格差、貧困 5. 社会③戦争、暴力と平和 6. 社会④差別と基本的人権 7. 社会⑤他宗教との対話 8. 環境①自然と生きる人間 9. 環境②自然と科学技術 10. 生命①家庭と生殖 11. 生命②医療技術と人間の尊厳 12. 生命③自死 13. 生命④尊厳死と安楽死 14. 生命⑤死刑制度 15. まとめ(ディスカッション) 				
<p>【テキスト】 『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p>【参考図書】 教皇フランシスコ『回勅 ラウダート・シ:ともに暮らす家を大切に』カトリック中央協議会、2016年 ISBN 978-4877501990 ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門(第3版)』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4 *その他は授業時またレジュメにおいて示す。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み態度 20% ・リアクションペーパー 40% ・レポート 40% 				
<p>【備考欄】 キリスト教の歴史また信仰についての基本的な知識を必須とするため、履修者にはすでに他のキリスト教学の科目を1つ以上履修済みであることを求める。</p>				

対面授業			15004	
授業科目名：英語学・言語学研究IVA			担当教員氏名：齋藤 衛	
Research in English Linguistics IVA				
履修年次 3～4	2 単位	1 期	1 コマ	
<p>【授業の目的】 日本語のさまざまな文法現象を取り上げて、英語と対比させながら分析する。取り上げる現象は、基本的な句構造、文法格、主題化、補文構造、接続詞、受動化、使役化などを含む。日英語に見られる共通点と相違点を観察しながら、卒業論文研究で必要となる文法分析の方法を学ぶ。母語の分析を行うので、受講生の積極的な参加が期待される。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語と日本語の特徴 2. 主題と主語化 3. 文法格 (1) 4. 文法格 (2) - 複合動詞の場合 5. 文法格と後置詞 6. 日本語の自由語順 7. 修飾節 8. 補文標識の種類と解釈 (1) 9. 補文標識の種類と解釈 (2) 10. 日英語における「はい」と「いいえ」 11. 再帰代名詞 12. 主題化と主語化再考 13. 日英語の存在文 (1) 14. 日英語の存在文 (2) 15. 総復習 				
<p>【テキスト】 毎回、ハンドアウトを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 齋藤 衛 『生成統語論の成果と課題—極小主義アプローチと比較統語論』 開拓社、2024.</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート (50%) 数回の宿題 (50%)</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業			15005
授業科目名:英米文学研究 IIIA		担当教員氏名:新野 緑	
Research in British and American Literature IIIA			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p>【授業の目的】 <『不思議の国のアリス』を読む> オックスフォード大学の数学教師ルイス・キャロルが書いた『不思議の国のアリス』(1865)は、当時の児童書としては珍しい<教訓のない物語>である。言葉の意味の二重性や既存の詩のパロディを駆使して、当時の人々に浸透し、現在の私たちもまた共通して持っている常識や価値観に、読者が疑問を持ち、それを覆していくような仕掛けがふんだんに施されている。この物語は決して、子供のためだけの無邪気な冒険物語ではない。物語を精読しながら、ヴィクトリア朝のイギリスの文化や社会のあり方を学ぶと同時に、言葉の孕む様々な不思議を発見することで、社会の常識から自由になって、世界を見る新たな視点を獲得する方法について考えてみたい。</p>			
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction: 授業の進め方と作家紹介 2. Chapter 1: 地下の国とは 3. Chapter 1: アリスとは何者か 4. Chapter 2: パロディの意義 5. Chapter 3: イギリスの歴史 6. Chapter 3: 同音異義語の面白さ 7. Chapter 5: 人間のアイデンティティとは何か 8. Chapter 6: チェシャ猫と笑い 9. Chapter 7: 儀礼と意味 10. Chapter 7: 時間とは何か 11. Chapter 9: ウミガメもどきと教育 12. Chapter 9: 言葉の変容 13. Chapter 11&12: 裁判の手順 14. Chapter 12: 夢と現実 15. まとめ・試験 (なお、取り上げる箇所は変更する可能性がある)			
<p>【テキスト】 Lewis Carroll, <i>Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking-Glass</i> (Penguin Classics, 2003). ISBN-10: 9780141439761</p>			
<p>【参考図書】 教室で適宜紹介する</p>			
<p>【成績評価の方法】 授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 30% 学期末試験 70%</p>			
<p>【備考欄】 授業は本学で行います。十分に予習をして臨んでください。</p>			

対面授業				15006
授業科目名:英米文学研究 III B			担当教員氏名:新野 緑	
Research in British and American Literature III B				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p><肖像画と文学></p> <p>肖像画はヨーロッパにおいて上層階級のステイタスを表すものとして貴族やジェントリーの屋敷に飾られてきた。18世紀になると、そうした風習は裕福な中産階級にも好んで取り入れられ、単なる個人の肖像ではなく、親しい友人や家族がグループワークに従事する「家族の肖像」も流行する。こうした当時の歴史的文化的風潮を受けてか、文学作品にもさまざまな「肖像画」の描写が導入されて、物語に重要な役割を果たす。18世紀から19世紀に至るイギリスの演劇、小説、詩に現れる肖像画の描写を取り上げて全員で精読し、肖像画、あるいは肖像画の描写が作品に果たす意味についてグループディスカッションを通して考えたい。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction: 授業の進め方と肖像画の歴史 2. Richard Brinsley Sheridan, <i>The School for Scandal</i> 3. クラスディスカッション 4. Jane Austen, <i>Pride and Prejudice</i> 5. クラスディスカッション 6. William Makepeace Thackeray, <i>Vanity Fair</i> 7. クラスディスカッション 8. George Eliot, <i>Middlemarch</i> 9. クラスディスカッション 10. Robert Browning, "My Last Duchess" 11. クラスディスカッション 12. Oscar Wilde, <i>Picture of Dorian Grey</i> 13. クラスディスカッション 14. Daphne du Maurier, <i>Rebecca</i> 15. まとめ・試験 <p>(なお、取り上げる作品は変更する可能性がある)</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>教室で適宜指示する</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言、クラスディスカッションの成果等) 30%</p> <p>学期末試験 70%</p>				
<p>【備考欄】</p> <p>授業は本学で行う。十分に予習をして臨んでください。</p>				

対面授業			15007	
授業科目名: International Communication IA			担当教員氏名: 桑山 敬己	
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1 コマ	
<p>【授業の目的】 文化人類学的異文化研究の基礎を講義する。具体的には、①文化の概念、②文化相対主義、③国民・民族・人種、④フィールドワークについて、まず日本語で説明する。次に、それぞれのテーマについて、英米の大学教員が解説したビデオを見て、英語での表現の仕方を覚える。また、文化人類学者が実際にフィールドで何を体験したかについて、エッセイ集を読みながら学習する。</p>				
<p>【授業内容】 1 導入 2 文化人類学とは 3 文化の概念(1) 4 細見「他者像を完成させない」 5 文化の概念(2) 6 川瀬「フィールドに「身を置く」と「わかる」こと」 7 文化相対主義 8 櫻間「フィールドとの「つながり」、フィールドとの「断絶」」 9 国民・民族・人種(1) 10 石田「「わたし」と「あなた」が会う時」 11 国民・民族・人種(2) 12 ボレイコ「五感から異文化を考える」 13 フィールドワーク 14 アン「無」としてのマイノリティ」 15 まとめ</p>				
<p>【テキスト】 人類学者は異文化をどう体験したか、桑山 敬己、ミネルヴァ書房、2500、9784623091621 、冊子版 必携書 桑山敬己・島村則恭・鈴木慎一郎『文化人類学と現代民俗学』風響社 2019年 ISBN 978-4-89489-412-9 その他にアメリカの文化人類学の入門書をプリントで配布する</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業中に行われる 2 回の小テストにパスする(40%)。 教材のエッセイ集の中から 1 つテーマを選んで、自分で収集した参考文献を基に期末レポートを作成する(60%)。</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業			15008	
授業科目名: International Communication IB			担当教員氏名: 桑山 敬己	
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1 コマ	
<p>【授業の目的】 文化人類学的異文化研究の基礎を講義する。具体的には、アメリカの文化人類学の入門書から、①文化の概念、②文化とコミュニケーション、に関する章をまず解説する。次に、それぞれのテーマについて、英米の大学教員が解説したビデオを見て、英語での表現の仕方を覚える。また、文化人類学者が実際にフィールドで何を体験したかについて、エッセイ集を読みながら学習する。</p>				
<p>【授業内容】 1 導入 2 文化人類学とは 3 The idea of culture (1) 4 安念『『当たり前』を問い直す』 5 The idea of culture (2) 6 野口「フィールドで『信頼する』ことと『信頼される』こと」 7 The idea of culture (3) 8 水谷「知らない土地とのつながりを見つける旅」 9 Culture and communication (1) 10 孫『『日本』を追い求めて』 11 Culture and communication (2) 12 呉「国内の異文化体験」 13 Culture and communication (3) 14 川内「無知から愛着へ」 15 まとめ</p>				
<p>【テキスト】 人類学者は異文化をどう体験したか、桑山 敬己、ミネルヴァ書房、2500、9784623091621、冊子版 必携書 桑山敬己・島村恭則・鈴木慎一郎『文化人類学と現代民俗学』風響社 2019年 ISBN 978-4-89489-412-9 その他にアメリカの文化人類学の入門書をプリントで配布する</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業中に行われる 2 回の小テストにパスする(40%)。 教材のエッセイ集の中から 1 つテーマを選んで、自分で収集した参考文献を基に期末レポートを作成する(60%)。</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業				15009
授業科目名: 古代文学特講 I			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいかにかに形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業ガイダンス: 「訓む」ことと「読む」ことと『万葉集』の基本 2 額田王の世界①: 代作歌人としての位置付け 3 額田王の世界②: 難訓歌に挑む 4 大和三山の歌①: 三首の疑問 5 大和三山の歌②: 歴史的背景と難訓歌 6 歌木簡と万葉集①: 木簡から見える古代の生活 7 歌木簡と万葉集②: 「難波津の歌」の謎 8 但馬皇女・穂積皇子歌群①: 配列から考える「歌物語」 9 但馬皇女・穂積皇子歌群②: 但馬皇女の「朝川渡る」 10 柿本人麻呂の世界①: 安騎野の歌の歴史的背景 11 柿本人麻呂の世界②: 安騎野の歌「東の野に炎の」の訓み 12 天平時代のサラリーマン事情①: 平城京の住居事情と出世への遠い道のり 13 天平時代のサラリーマン事情②: 奈良時代の昇進事情 14 高橋虫麻呂「浦嶋伝説歌」①: 上代における「伝説歌」の意義 15 高橋虫麻呂「浦嶋伝説歌」②: 考古学・歴史学の視点から・授業の総括 				
<p>【テキスト】</p> <p><必携書> * 購入の必要あり 東城敏毅『多角的に考える『万葉集』十五講』(大学教育出版・2026年)</p>				
<p>【参考図書】</p> <p><参考書等> * 購入の必要なし 佐竹昭広他『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房・1998年) 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA・2021年) その他、授業中に適宜紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>レスポンスカード 50% 学期末レポート 50%</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業				15010
授業科目名: 古代文学特講Ⅱ			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいかに形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。</p>				
<p>【授業内容】 1 授業ガイダンス: 「訓む」ことと「読む」ことと・『万葉集』の基本 2 「訓む」から「読む」へ—難訓歌への挑戦— 3 額田王「蒲生野の歌」—「あかねさす紫野行き標野行き」 4 高市黒人「羈旅歌八首」: 八首の配列の方法 5 山部赤人「神岳の歌」①: 行幸歌としての位置づけ 6 山部赤人「神岳の歌」②: 「神岳」とはどの山か? 7 大伴旅人「讃酒歌」—大宰府文学圏の世界—①: 「酔い泣き」と「賢しら」 8 大伴旅人「讃酒歌」—大宰府文学圏の世界—②: 旅人の亡妻挽歌 9 山上憶良「貧窮問答歌」①: 「貧窮」を詠む意義 10 山上憶良「貧窮問答歌」②: 漢籍との比較 11 卷十六の「笑い」①: 長忌寸意吉麻呂の「物名歌」 12 卷十六の「笑い」②: からかいの歌 13 卷十六の「物語歌」③: 物語文学への萌芽 14 万葉集最後の歌—家持の願い—①: 季節観と四時観 15 万葉集最後の歌—家持の願い—②: 「元旦立春」の意義・授業の総括・レポートについて</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> * 購入の必要あり 東城敏毅『多角的に考える『万葉集』十五講』(大学教育出版・2026年)</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> * 購入の必要なし 佐竹昭広他『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房・1998年) 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA・2021年) その他、授業中に適宜紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 レスポンスカード 50% 学期末レポート 50%</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業				15011
授業科目名: 古代文学特講Ⅲ			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5人
【授業の目的】 平安期物語作品が、後代にいかにより継承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。				
【授業内容】 1 講義概要の説明—物語享受の諸相— 2 古筆切1—概説— 3 古筆切2—和歌切— 4 古筆切3—物語切— 5 源氏物語の写本1—概説— 6 源氏物語の写本2—青表紙本系— 7 源氏物語の写本3—その他— 8 中間まとめ 9 物語絵と物語歌合1—物語絵の世界— 10 物語絵と物語歌合2—風葉和歌集— 11 源氏物語の古注釈1—三条西家の学統— 12 源氏物語の古注釈2—その他— 13 文学と教育1 14 文学と教育2 15 1期まとめ				
【テキスト】 <必携書> 『字典かな』 4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院 『古典文学研究の視角』 大学教育出版				
【参考図書】 <参考書等> 適宜指示する。				
【成績評価の方法】 学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。 (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)				
【備考欄】				

対面授業				15012
授業科目名: 古代文学特講IV			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5人
<p>【授業の目的】 平安期物語作品が、後代にいかに関承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。なお、2期においては、適宜、各研究機関より、特別講師を招聘することがある。</p>				
<p>【授業内容】 1 講義概要の説明—物語享受の諸相— 2 無名草子1—概説— 3 無名草子2—源氏物語論— 4 無名草子3—その他— 5 源氏物語と後期物語1—浜松中納言物語— 6 源氏物語と後期物語2—夜の寝覚— 7 源氏物語と後期物語3—狭衣物語とその他— 8 中間まとめ 9 源氏物語の続編・偽作 1—概説— 10 源氏物語の続編・偽作 2—山路の露①— 11 源氏物語の続編・偽作 3—山路の露②— 12 源氏物語の続編・偽作 4—山路の露③— 13 源氏物語の続編・偽作 5—雲隠六帖①— 14 源氏物語の続編・偽作 6—雲隠六帖②— 15 2 期まとめ</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 特になし。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 適宜指示する。『字典かな』(4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院)があると望ましい。</p>				
<p>【成績評価の方法】 学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。 (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				
【備考欄】				

対面授業			15013
授業科目名: 中世文学特講 I		担当教員氏名: 江草 弥由起	
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature I			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1 コマ
<p>【授業の目的】 本授業では鎌倉初頭に成立した『新古今和歌集』を学ぶことで、和歌史上類を見ないほど歌壇が隆盛した新古今時代を理解し、勅撰集を鑑賞する目を養うことを目的とする。『新古今和歌集』は他の勅撰集よりもその成立過程を詳細に見ることが出来る作品であり、一旦成立を見た直後から幾度も後鳥羽院の意思による改訂が行われるという、院の並々ならぬ本歌集への執心のほどが窺われる作品でもある。院は承久の乱で隠岐に遷された後も、さらに改訂を行い「隠岐本」と称される『新古今和歌集』を作り上げた。これほど長い時間をかけられ、撰集を命じた院本人に執着された勅撰集は例がない。授業前半では、『新古今和歌集』について、『明月記』や『源家長日記』などの記録を踏まえながら、その成立の在り方を学ぶ。後半では、『新古今和歌集』の歌を歌人毎に学び、和歌史上技巧のと評される新古今時代の和歌を楽しめる感性を養ってもらいたい。</p>			
<p>【授業内容】 1. 勅撰和歌集について 2. 後鳥羽院について 3. 『新古今和歌集』成立過程① 和歌所設置と撰集の下命 4. 『新古今和歌集』成立過程② 完成と切り継ぎ 5. 承久の乱と隠岐本『新古今和歌集』 6. 和歌の鑑賞① 後鳥羽院 7. 和歌の鑑賞② 藤原定家 8. 和歌の鑑賞③ 藤原家隆 9. 和歌の鑑賞④ 藤原良経 10. 和歌の鑑賞⑤ 源通親 11. 和歌の鑑賞⑥ 源通具 12. 和歌の鑑賞⑦ 俊成卿女 13. 和歌の鑑賞⑧ 式子内親王 14. 和歌の鑑賞⑨ 西行 15. 授業のまとめ 定期試験に向けての学習要点の説明</p>			
<p>【テキスト】 <必携書> 授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメプリントの配布はしない。</p>			
<p>【参考図書】 <参考書等></p>			
<p>【成績評価の方法】 小テスト・定期試験(manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>			
<p>【備考欄】</p>			

対面授業				15014
授業科目名: 中世文学特講Ⅱ			担当教員氏名: 江草 弥由起	
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業では、『平家公達草紙』のテキストの読解と絵巻の鑑賞を行う。『平家公達草紙』は、平維盛、平資盛、平重衡などの平家の公達らの逸話を集めたものである。華やかな宮廷行事の様や女たちとのやりとりが中心に描かれており、『平家物語』とは異なった視点で平家公達を表現している点の特徴にあげられる。平家公達を中心とした平家文化圏の人々が、鎌倉時代中後期(13世紀半ば~14世紀半ば)においてどのように描かれたのかを理解すること、その表現が何に基づき為されたのかを他作品と比較しながら読解すること、また『平家公達草紙』のような作品が後世に求められた意義を考えられることを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 1. 『平家公達草紙』の基礎知識 2. 「内裏近き火」 3. 「青海波」① 4. 「青海波」② 5. 「青海波」③ 「花陰の鞠」 6. 「公達の盗人」① 7. 「公達の盗人」② * 授業後、manaba より小テスト出題。 8. 「かたのまもり」 9. 「秋のみやまのもみじ葉」 10. 「将棋倒し」「建春門院の面影」① 11. 「建春門院の面影」② 12. 「重衡とその想い人たち」① 13. 「重衡とその想い人たち」② 14. 「東北院の遊び」 15. 「隠れ蓑の中將」 授業のまとめ * 授業後、manaba より期末テスト出題。</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメの配布はしない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等></p>				
<p>【成績評価の方法】 小テスト及び定期試験 (manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業				15015
授業科目名:近代文学特講 I			担当教員氏名:山根 知子	
Special Lecture on Modern Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】 岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。 さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岡山を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。 授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イン트로ダクション 2 坪田譲治年譜による作家理解 3 作品と同時代および風土について 4 坪田譲治の作品理解 5 学生による「感想」「イラスト」についての発表 (岡山市主催「学生による坪田譲治ワールドへの招待」への応募内容について各自発表) 6 映像授業「第一部 坪田譲治の生涯」 7 童話集『かっぱとドンコツ』および 6 の解説 8 映像授業「第二部 作品から学ぶ坪田譲治」 9 小説「風の中の子供」および 8 の解説 10 映像授業「第三部 坪田譲治の時代から学ぶ岡山」 11 10 の解説および期末レポート課題の説明 12 同時代資料を使った小説の読解 13 同時代資料を使った童話の読解 14 期末レポート仮提出とそのフィードバック 15 作品分析と作家理解について <p>期末レポート本提出</p>				
【テキスト】 担当教員より印刷物等を配付				
【参考図書】 なし				
<p>【成績評価の方法】 授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				
【備考欄】				

対面授業				15016
授業科目名:近代文学特講Ⅱ			担当教員氏名:山根 知子	
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】</p> <p>岩手県花巻市出身の児童文学作家・詩人である宮沢賢治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岩手を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イン트로ダクション 2 宮沢賢治年譜による作家理解 3 作品と同時代について 4 作品と風土について 5 宮沢トシ「自省録」 6 童話「虔十公園林」 7 童話「めくらぶだうと虹」 8 童話「アラムハラドの見た着物」 9 童話「ひかりの素足」 10 童話「マグノリアの木」 11 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品成立過程 12 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品構造 13 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—信仰と科学 14 期末レポート仮提出とそのフィードバック 15 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—農民芸術論と新世界 <p>期末レポート本提出</p>				
【テキスト】 担当教員より印刷物等を配付				
【参考図書】 なし				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				
【備考欄】				

対面授業			15017
授業科目名:近代文学特講Ⅲ		担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅲ			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p>【授業の目的】 現在でも映画化・キャラクター化される太宰治とその作品を取り上げる。太宰作品を具体的に読み解き、普遍的な作家の魅力に繋がる特徴を考えていく。太宰の文学活動と重なる近代(昭和)の戦争期という時代背景を理解し、文学と戦争との関わりを考察する。太宰文学を通して、時代と社会を論理的に言語化する力を身につける。</p>			
<p>【授業内容】 1 インTRODクシヨン(導入と授業の進め方) 2 太宰治の生涯について 3 現代に生きる太宰治(サブカルチャーへの継承と展開) 4 前期文学の特徴 5 中期文学の特徴 6 後期文学の特徴 7 前期作品の読解① 8 前期作品の読解② 9 中期作品の読解① 10 中期作品の読解② 11 太宰治と戦争 12 後期作品の読解① 13 後期作品の読解② 14 太宰治とキリスト教 15 太宰治の死と戦後 * 読解対象の作品は授業内で伝える</p>			
<p>【テキスト】 <必携書> 授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>			
<p>【参考図書】 <参考書等> 授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>			
<p>【成績評価の方法】 課題プリントとコメント用紙の提出(40%) 期末レポート(60%)</p>			
<p>【備考欄】</p>			

対面授業				15018
授業科目名:近代文学特講IV			担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 近代と現代の作家・作品に結びついた様々なメディアに着目し、取り上げる文学作品を読み深めるとともに、異なる媒体(マンガ・アニメ・映画)の中で変容する文学のあり方を探る。作家・作品の背景となる時代状況と現代のメディアから読み取る社会状況を理解した上で、作家・作品の特質を考え、現代の文化に新しく繋がる文学の魅力を論理的に言語化する力を身につける。</p>				
<p>【授業内容】 1 インTRODクシヨN(導入と授業の進め方) 2 文学研究の方法から探るマンガの世界① 3 文学研究の方法から探るマンガの世界② 4 現代の文化(マンガ・アニメ・映画)と文学について 5 文学とマンガ—太宰治・泉鏡花 6 作品読解① 7 作品読解② 8 文学とアニメ—堀辰雄・梶井基次郎 9 作品読解③ 10 作品読解④ 11 文学と映画—松本清張・太宰治 12 作品読解⑤ 13 作品読解⑥ 14 メディア拡大する教科書の中の作家達① 15 メディア拡大する教科書の中の作家達② * 読解対象の作品は授業内で伝える</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 課題プリントとコメント用紙の提出(40%) 期末レポート(60%)</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業			15019	
授業科目名：日本語学特講IV			担当教員氏名：星野 佳之	
Special Lecture on Japanese Linguistics IV				
履修年次 2～4	2 単位	2 期	1 コマ	
<p>【授業の目的】 日本語の文法について考察する(現代語及び古代語)。いわゆる学校文法の「連用・連体」「主語・述語」「格」等の術語は、目にするが実のところよく理解されていないことが多い。これらの概念と文法論的諸問題の整理を通して、日本語の文法をどう把握するのが妥当なのか考えていく。 今年度は、例示の「副助詞」類としてクライの成立と副助詞以外の用法との関係を考察する。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 「法」という範疇 第2回 品詞について 第3回 述語について 第4回 副助詞と係助詞について 第5回 副助詞各論 1 第6回 副助詞各論 2 第7回 副助詞各論 3 第8回 副助詞各論 4 第9回 副助詞各論 5 第10回 副助詞各論 6 第11回 副助詞各論 7 第12回 副助詞各論 8 第13回 副助詞各論 9 第14回 副助詞各論 10 第15回 副助詞各論 11 定期試験</p>				
<p>【テキスト】</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業中の課題に 30 点を配当する。 期末レポートの作成を課す。これに 70 点を配当する。</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業			15020	
授業科目名：家族社会学			担当教員氏名：山下 美紀	
Sociology of the Family				
履修年次 2～4	2 単位	2 期	1 コマ	
【授業の目的】 本講義では、家族変動を読み解く基本的な理論と方法論を提示し、現代の家族に迫る。歴史の中で変転を遂げてきた家族の姿を追い、現代家族の抱える問題を析出する。家族および人と人のつながりを考えていく手がかりを提示する。講義中心であるが、グループ討議や発表の機会を持つ。				
【授業内容】 1. 家族研究への招待 2. 家族研究の紹介・アンケート 3. 社会と家族と個人 4. 家族イメージの変容 5. 社会の変化と家族の変容・グループディスカッション 6. 近代家族と「子どもの誕生」 7. 近代家族の特徴 8. 近代家族の揺らぎ・中間試験 9. 日本型近代家族と「家」 10. 日本社会の家族変動 11. 現代の子ども事情 12. 恋愛と結婚 13. 日本の婚姻動向と婚姻観 14. 家族の変化と現代的課題・中間試験 15. まとめ・家族の現代的意味を問う				
【テキスト】 				
【参考図書】 <参考書> 『現代家族を読み解く 12 章』, 日本家政学会編, 丸善出版.				
【成績評価の方法】 中間試験: 2回実施60% 課題レポート: 10% 期末レポート: 30%				
【備考欄】 				

対面授業				15021
授業科目名:地域社会学 I			担当教員氏名:二階堂 裕子	
Regional and Community Studies I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本講義の目的は、現代における地域社会の諸問題への関心と理解を深めること、そして、新たな社会システムの構築に向けて、今後、私たちが取り組むべき課題とは何かを考察することにある。まず、私たちが日常生活を営む地域社会というものの捉え方やその成り立ちを学ぶ。そのうえで、戦後の高度経済成長期に日本の都市化がどのように進み、地域社会における人々の関係がどのように変容したのかを理解する。さらに、少子高齢化の進行、地方都市における衰退、安全・安心をめぐる危機の深刻化、グローバル化の進展などの社会変動が、今日の地域社会にどのような問題を生み出しているのかについて検討する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会とコミュニティ 2. コミュニティ問題の登場 3. 都市化と地域社会における変容 4. 町内会とコミュニティ形成 5. コミュニティ活動における自治体・住民・NPO の関係 6. コミュニティ・センター 7. コミュニティ活動 8. 子育てと地域社会 9. 高齢化と地域社会 10. 中山間地域における過疎化 11. 地方都市の衰退と再生 12. インナーシティ問題の発生 13. 安全・安心な生活と地域社会 14. グローバル化と地域社会 15. 多民族・多文化化とコミュニティ形成 				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 講義中に適宜資料を提示するほか、参考書なども紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 毎回の小課題(授業で学んだことや意見): 30% 期末レポート: 70%</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業			15022	
授業科目名: 日本社会史 II			担当教員氏名: 久野 洋	
Social History of Japan II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業では、近世から近現代にかけての日本社会の具体的なありようと、その変容過程について考察する。高等学校までの日本史の中心的な話題は、政治権力や政策レベルの歴史だったかもしれない。この授業では、とりわけ村や都市といった地域社会と国家・権力との関係を捉えることで、日本社会の歴史的展開をより深く理解することを目指す。その際、史料にもとづきながら、地域に生きた人々が抱えた矛盾・葛藤を具体化し、各時代における社会のゆがみを見定めることに注力する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 徳川社会で生きる 3. 「徳川システム」のゆらぎ 4. 近世民衆の姿 5. 開国と幕末社会—地域の視点から— 6. 近代化と地方名望家 7. 近代化と地域の民衆 8. 明治社会で生きる 9. 「家」と農村の女性 10. 都市民衆騒擾の時代 11. 第一次世界大戦後の大衆社会化 12. 恐慌の時代 13. 民衆はなぜ戦争に「協力」したのか 14. 総力戦体制下の矛盾 15. むすび 				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡辺尚志『百姓のカー江戸時代から見える日本—』（柏書房、2008 年／角川ソフィア文庫、2015 年） ・松沢裕作『生きづらい明治社会—不安と競争の時代—』（岩波ジュニア新書、2018 年） ・季武嘉也編『日本の近現代—交差する人々と地域—』（放送大学教育振興会、2015 年） ・大門正克『戦争と戦後で生きる』（小学館、2009 年） <p>その他の文献については授業中に適宜紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験ト 70%</p> <p>リアクションペーパー・授業への取り組み度 30%</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業			15023	
授業科目名: アジア社会史II			担当教員氏名: 鈴木 真	
Social History of Asia II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1 コマ	
<p>【授業の目的】 中国史上における民衆蜂起やアウトローたちの世界について取り上げ、官僚や知識人の世界(「アジア社会史 I」で講義)とは異なる中国社会について講義する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国社会の「士」と「庶」 2. 中国社会の民衆 3. 中国社会のネットワーク 4. 墨家と道家 5. 民衆と宗教 6. 中国史における塩と塩商人 7. 塩の専売と私塩 8. 唐宋時代の社会変容 9. 江湖の人びと 10. 廟と財神 11. 血縁と結義 12. 筆記の中の神さま 13. 清代の秘密結社 14. 結社と革命 15. まとめ 				
<p>【テキスト】</p>				
<p>【参考図書】 参考文献は講義中に適宜紹介する。 また漢文史料等を掲載した資料プリントを、毎回配付する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 小レポート: 10% 期末試験 : 90% (※「持込み不可」の長文論述試験を、対面でおこなう)</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業			15024
授業科目名:ヨーロッパ社会史 I		担当教員氏名:轟木 広太郎	
Social History of Europe I			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1 コマ
<p>【授業の目的】 古代から現代にかけて、ヨーロッパ社会史のさまざまなテーマを取り上げる。前半から中盤にかけては、古代から現代にいたるまで時代別に固有のテーマを設定するが、後半は、アナー学派の代表的歴史家のある研究を詳細に紹介するという形式で進める。</p>			
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古代末期の社会史; 殉教者崇敬 2. 中世の社会史; 聖遺物崇敬のはじまり 3. 中世の社会史; 聖遺物崇敬の発展 4. 中世の社会史; 修道生活 5. 中世の社会史; 騎士と封建社会 6. 中世の社会史; 騎士文化 7. アンシャンレージュムの社会史; 近世における国王儀礼 8. アンシャンレージュムの社会史; ガリカニスムのもとでのカトリック教会 9. フランス革命の社会史; 非キリスト教化 10. フランス革命の社会史; 習俗の革命 11. フランス革命の社会史; 革命祭典 12. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 中世 13. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 近世 14. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 近代 15. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 現代 			
<p>【テキスト】 毎回の授業で資料教材を配布する。</p>			
<p>【参考図書】</p>			
<p>【成績評価の方法】 平常点(15%) レポート(85%)</p>			
<p>【備考欄】</p>			

対面授業				15025
授業科目名: 考古学II			担当教員氏名: 紺谷 亮一	
Archeology II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
【授業の目的】 オリент考古学についての基礎的知識の習得を図る。農耕の開始、都市の出現、文字の発明、交易網の整備等、人類史の主な出来事が、オリエンの地でおこったことを学ぶ。オリエンでの発掘調査の方法論の独自性を理解する。その一方で、日本考古学との相違点について理解する。そして、流動的な現代中東世界を理解するうえで、オリエン考古学の果たす役割について学ぶ。				
【授業内容】 1 講義概要 2 古代オリエンの地理学的概念 3 新石器(農耕)革命 4 都市革命 5 文字の発明 6 交易の時代・青銅器の出現 7 帝国と鉄器の出現 8 オリエンの発掘史 1 9 オリエンの発掘史 2 10 オリエンの遺跡 1(ヒッタイト帝国の首都ハットウシヤ) 11 オリエンの遺跡 2(ホメロスの伝説都市トロイ) 12 オリエンの遺跡 3(アッシリア王の都ニルムド) 13 トルコにおける考古学調査 14 オリエン考古学に携わった人々(アラビアのロレンス、アガサ・クリスティー等) 15 総括				
【テキスト】 <必携書> 『西アジア考古学講義ノート』, 西アジア考古学講義ノート編集委員会, 西アジア考古学会、2013年				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 レポート(2回) 50% ノート提出 50%				
【備考欄】				

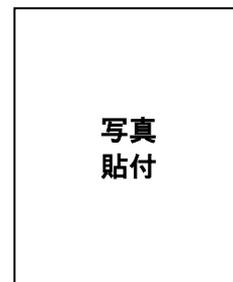
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

ノートルダム清心
女子大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦		年	
		女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 —						
	Tel () —						
メールアドレス							

* 履修受付締切日：前期：3月31日(火)まで 後期：9月9日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
15001	キリスト教学Ⅱ	教養	岡田 紅理子	2	1期	2~4	女子のみ キリスト教学Ⅱ・Ⅷ受 講要件なし	火 2	10:45~12:15	
15002	キリスト教学Ⅷ	教養	岡田 紅理子	2	2期	1~4		火 2	10:45~12:15	
15003	キリスト教学Ⅹ	教養	岡田 紅理子	2	2期	2~4	女子のみ、他のキリスト 教学科目履修必要	水 2	10:45~12:15	
15004	英語学・言語学研究ⅣA	専門	齋藤 衛	2	1期	3~4	女子のみ	木 1	9:00~10:30	
15005	英米文学研究ⅢA	専門	新野 緑	2	1期	2~4	女子のみ ⅢA・ⅢB受講要件なし	木 5	16:30~18:00	
15006	英米文学研究ⅢB	専門	新野 緑	2	2期	2~4		木 5	16:30~18:00	
15007	International Communication IA	専門	桑山 敬己	2	1期	2~4	女子のみ IA・IB受講要件なし	水 3	13:00~14:30	
15008	International Communication IB	専門	桑山 敬己	2	2期	2~4		水 3	13:00~14:30	

15009	古代文学特講Ⅰ	専門	東城 敏毅	2	1期	2~4	女子のみ Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ受講要件 なし	月 2	10:45~12:15		
15010	古代文学特講Ⅱ	専門	東城 敏毅	2	2期	2~4		水 1	9:00~10:30		
15011	古代文学特講Ⅲ	専門	中井 賢一	2	1期	2~4		金 4	14:45~16:15		
15012	古代文学特講Ⅳ	専門	中井 賢一	2	2期	2~4		木 3	13:00~14:30		
15013	中世文学特講Ⅰ	専門	江草 弥由起	2	1期	2~4	女子のみ Ⅰ・Ⅱ受講要件なし	金 2	10:45~12:15		
15014	中世文学特講Ⅱ	専門	江草 弥由起	2	2期	2~4		金 2	10:45~12:15		
15015	近代文学特講Ⅰ	専門	山根 知子	2	1期	2~4	女子のみ Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ受講要件 なし	火 2	10:45~12:15		
15016	近代文学特講Ⅱ	専門	山根 知子	2	2期	2~4		水 2	10:45~12:15		
15017	近代文学特講Ⅲ	専門	長原 しのぶ	2	1期	2~4		水 3	13:00~14:30		
15018	近代文学特講Ⅳ	専門	長原 しのぶ	2	2期	2~4		火 2	10:45~12:15		
15019	日本語学特講Ⅳ	専門	星野 佳之	2	1期	2~4	女子のみ	月 3	13:00~14:30		
15020	家族社会学	専門	山下 美紀	2	2期	2~4	女子のみ	水 2	10:45~12:15		
15021	地域社会学Ⅰ	専門	二階堂 裕子	2	1期	2~4	女子のみ	火 5	16:30~18:00		
15022	日本社会史Ⅱ	専門	久野 洋	2	2期	2~4	女子のみ	火 1	9:00~10:30		
15023	アジア社会史Ⅱ	専門	鈴木 真	2	2期	2~4	女子のみ	火 2	10:45~12:15		
15024	ヨーロッパ社会史Ⅰ	専門	轟木 広太郎	2	1期	2~4	女子のみ	火 3	13:00~14:30		
15025	考古学Ⅱ	専門	紺谷 亮一	2	2期	2~4	女子のみ	木 3	13:00~14:30		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚